

# 東京海上自動車協定

## 延岡観光協会 観光振興で連携

延岡観光協会（谷平興二代代表理事）と東京海上自動車火災保険（本社東京都千代田区）は12日、観光振興に関する包括連携協定を結んだ。観光振興への貢献を目的に同社が観光団体と協定を結ぶのは、昨年7月の宮崎市観光協会に続いて全国で2団体目。

連携項目は、訪日外国人旅行者の受け入れ環境整備、安心・安全・快適に観光できるまちづくり、事業者のインバウンド受け入れ態勢の構築、観光資源に

関するデータ分析、延岡の観光・物産のPRの5項目。具体的には、訪日外国人向け海外旅行保険の普及、同社グループの介護事業者による「お客様対応力向上セミナー」開催、同社が行っているインバウンド観光調査結果の提供、同社東京本店での延岡市観光物産展開催、ホームページのリンクなどを予定している。

調印式は延岡市幸町の延岡観光協会事務所であり、木村邦子同協



協定書を披露する木村副会長（右から2人目）と元廣支店長

会副会長と元廣桂三同社宮崎支店長が協定書に署名、押印した。

同協会の吉田裕之専務理事は「この協定が東京五輪を前に急務となっている外国人旅行者の受け入れ態勢構築や、延岡の物産をより多くの人に知ってもらうきっかけになってほしい。延岡の観光振興が新たな局面を迎えることになる」と期待した。

元廣支店長によると、同社の国内損保事業の保険料収入は、3分の2が地方由来という。このため地方経済の動向が同事業の将来を左右すると、全国61の各支店に担当者を配置し、150人体制で地方創生を推進している。

元廣支店長は「延岡市と周辺地域には豊かな自然、食、文化、歴史があり、魅力的な観光地。全国に営業拠点を持つ弊社ならではの強みで積極的にPRし、誘客に貢献したい」と話した。

10月27、28日

# のぼりざるフェスタ

## 県北最大の 観光物産展

# 実行委が発会式

延岡市で開かれる県北地区最大の観光物産展「のぼりざるフェスタ Together 2018」の実行委員会の発会式が9日、同市中町のはにわ会館で開かれた。今年はやまを「縁育! いくいく♪のぼりざるフェスタ」とし、10月27、28日に中町シンボルロード特設会場で開く。

実行委員長には西村通洋さん(56)ニシムラレンタリースが選ばれた。延岡の郷土玩具「のぼりざる」に扮(ふん)し、えぼしと羽織を身に着けた西村さんは「縁でいっぱい会場、元気にいっぱい会場になるよう実行委員会を運営していきたい」と意気込み。テーマについては、4

月に開館した駅前複合施設「エンクロス」の名前の由来となった「縁」を育み、地域の元気に貢献したい思いで決定した経緯を説明。「縁あるところに人は育つ、地域は育つをキーワードに、地域の縁を通して、頑張っている店や生産者を応援したい。人材育成にも寄与したい」と力を込めた。



今年のテーマ「縁育! いくいく♪のぼりざるフェスタ」に込めた思いを話す西村実行委員長

上田耕市大会会長は「のぼりざるフェスタ実行委員会は人材育成機

関。加わることは価値あること。新しい挑戦をしっかりとサポートするの

で、思い切って取り組んでほしい」と激励。黒木

清延岡商工会議所専務理事は「まちづくりの中で常に先駆的な組織で、成長していく団体であってほしい」と期待した。同フェスタは、地場産業や観光振興、地域活性化を目的に毎年秋に開催しているイベントで、今回で35回目。第1回実行

委員会は17日午後7時から、市中小企業振興センターで開き、組織の説明やワークショップなどを行う。以降は毎週火曜日同じ時間・会場で開催していくという。また、実行委員会では引き続き実行委員を募集中。地域づくりに興味のある方、普段の仕事・学生生活では得られない仲間をつくり、数多くのチャレンジを成功させましょう」と呼び掛けている。問い合わせは延岡市観光戦略課内の同実行委員会事務局(☎延岡34・78033)、野上さん。